

インクルーシブデザインネットワーク

『世界を変えるインクルーシブデザイン』 私達からはじめよう！

開催日：2024年3月30日

開催場所：コクヨ株式会社 東京オフィス

- **インクルーシブデザインの課題と未来、我々が行うべきことをディスカッション**

ワーク1：各自の「**マイ・プロジェクト**」の発表と共有

ワーク2：マイプロジェクトから「**みんなのプロジェクト**」へ展開

ワーク3：全体ディスカッションで「**インクル・プロジェクト**」を明確化

全体発表・結果共有

- **参加者**

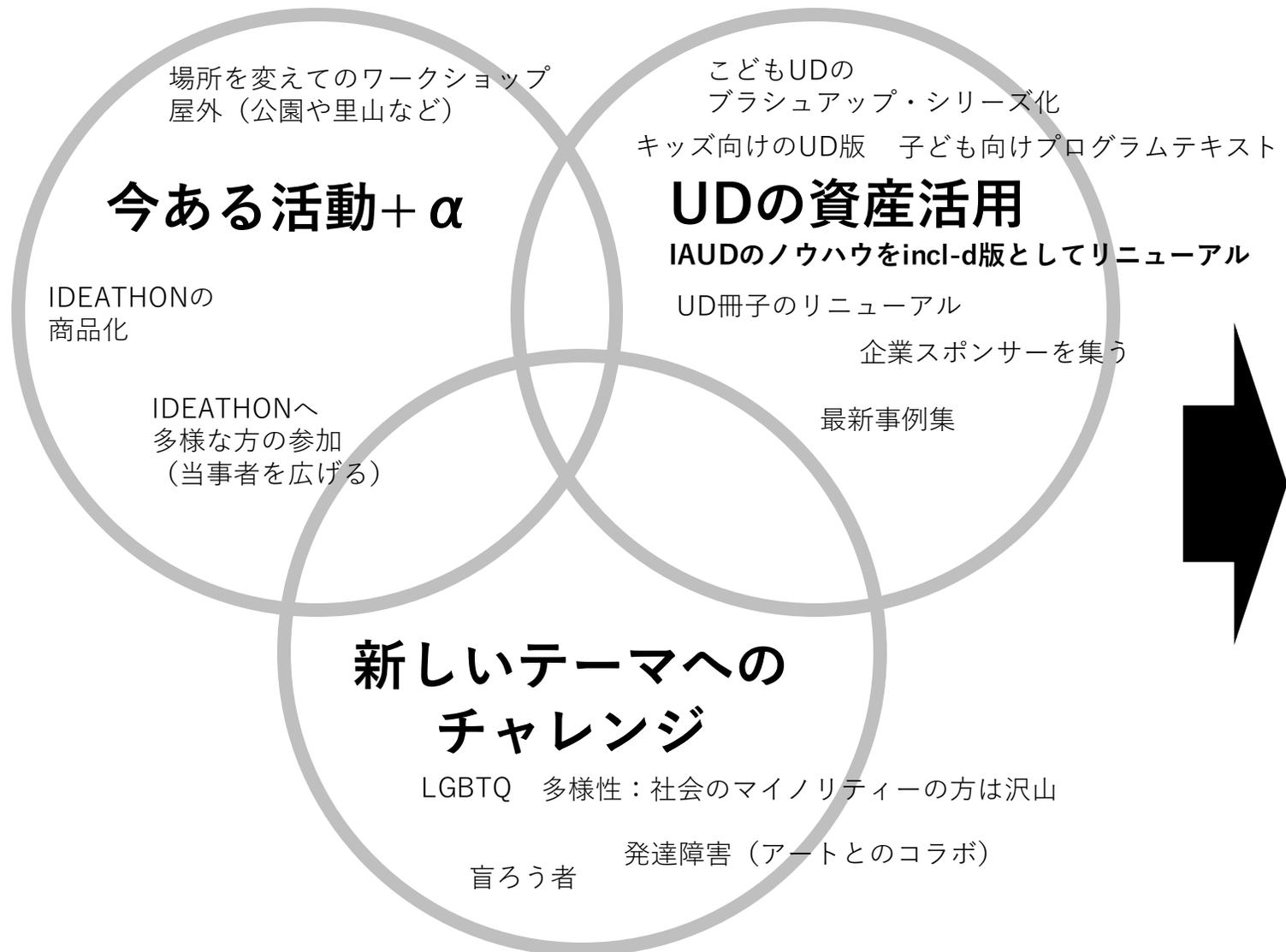
Aグループ：稲垣、川嶋、蔦谷、金谷、奥田

Bグループ：藤木、高橋、宮本、末本、小林

Cグループ：岩崎、塩越、森、関根、和田

敬称略

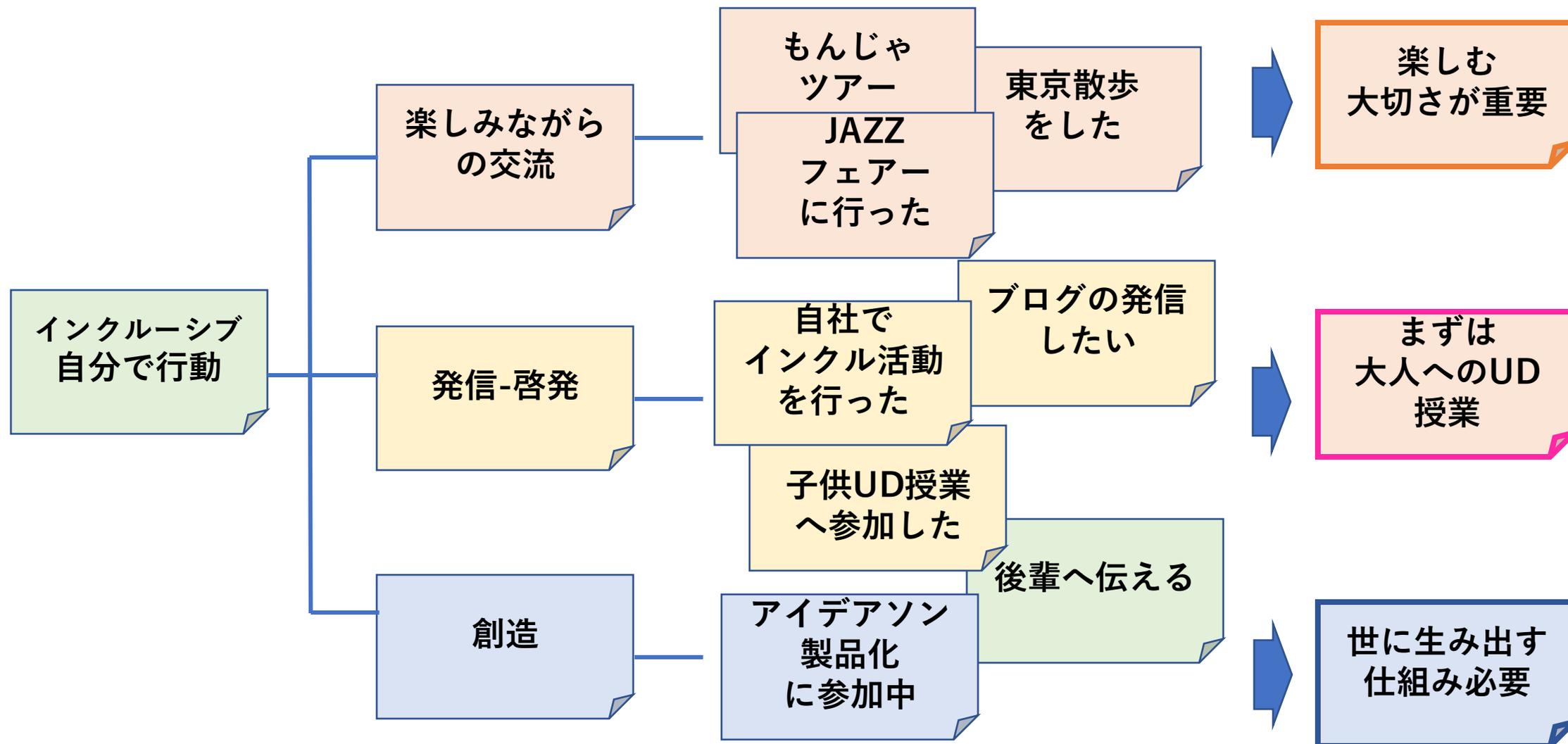




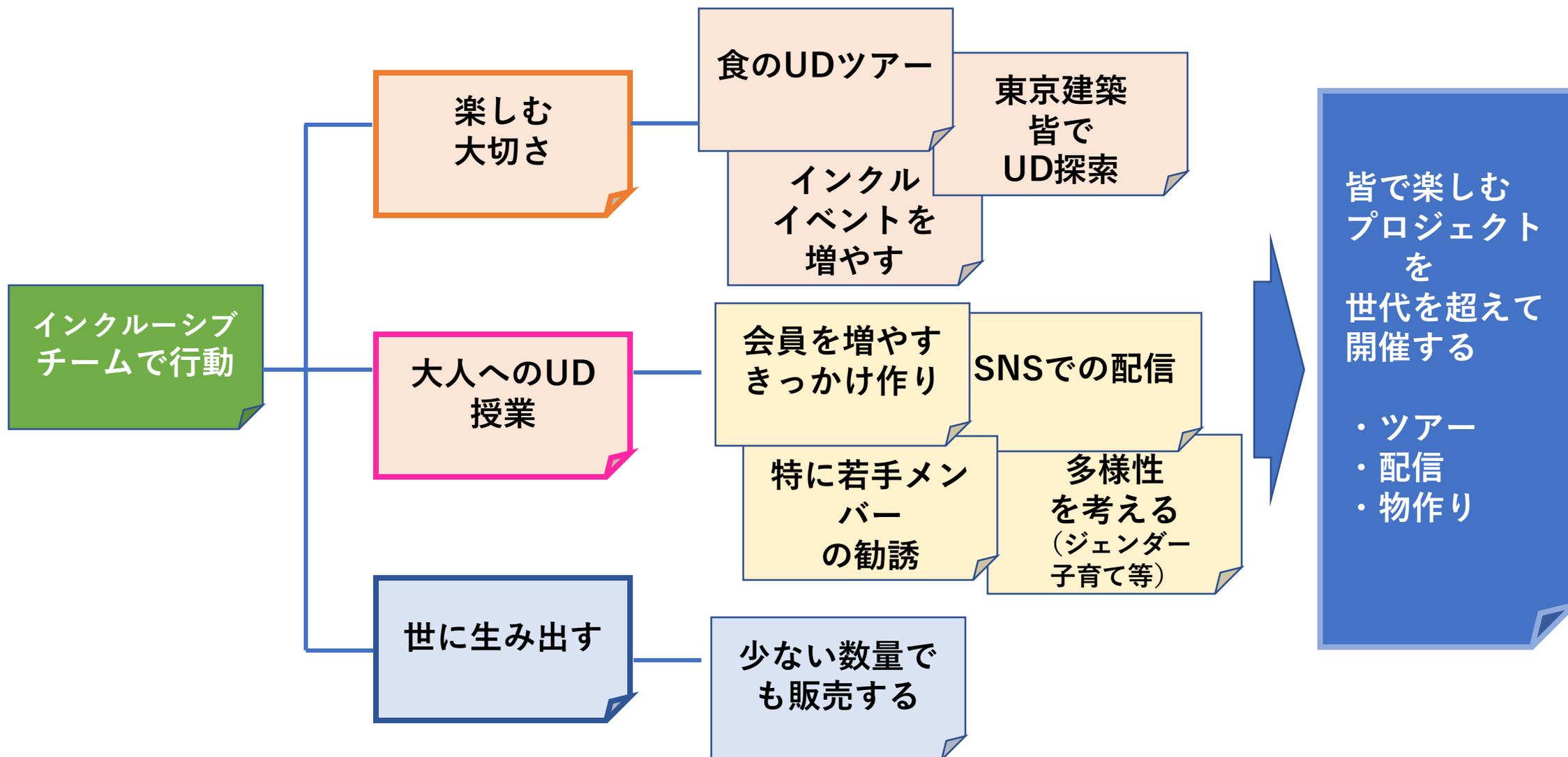
【提案】

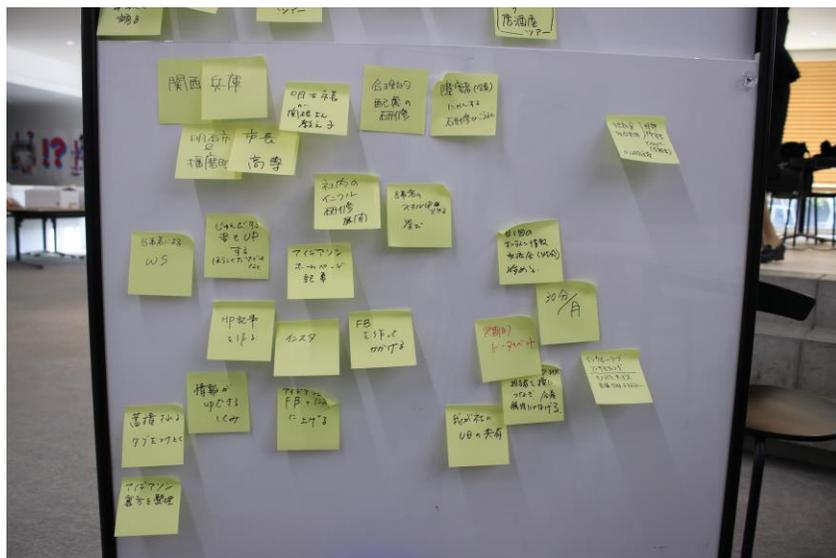
- **大人UDツアー**
- **親子UD教育 (ツアー)**
もんじゃ焼き・回転すしへ行くなど
- **子供から学ぶUD**
SDGsのことはこどもの方が勉強しておるおり、大人は知らないこともある
- **年上の子供たちから、年少の子供たちへ教える**
ex.小学校5年生→4年生へ
- **障がい者の方の講話**
子供たちが身近に感じる。
両方の世界をからの視点。

My Project 「自分で行動して見えて来たこと」



Our Project 「皆でインクルーシブを楽しみながら広げる」





「昼カフェ・夜呑みUDツアー」

● 社会の課題

- ・合理的配慮が義務化される中で、関係者でのノウハウの共有が急務
- ・情報発信、情報交換の場の拡充

● 実施内容 (案)

- ・当事者主体で現場の検証や、体験談の共有
- ・気楽な意見交換、吐き出しを通じて、当事者と対応者の共感の拡大
- ・肩肘張らない楽しい時間、楽しく、かつ、遊びから学びの拡充

● 実施方法 (案)

- ・リアルな体験を共に行う → 「昼はカフェ巡り、夜は居酒屋探訪」等
- ・各地区の当事者によるガイドツアーと情報交換会

● 期待する効果

- ・合理的配慮の要点、実施例の蓄積と発表 (インクル独自の知見の蓄積)
- ・会員同士、当事者と当事者の関係強化 等

- **当事者と関係者のより濃い交流による学びの拡充**
- **情報発信、情報交換の機会拡大**
- **リアルな交流を含め、実施地域の拡大**



**実施可能なところから推進
内容に関しては、継続して検討を行う**



特定非営利活動法人
インクルーシブデザインネットワー
ク